

デジタル田園都市国家構想推進交付金事業 全体像

R5.3.22
DX推進協議会資料抜粋
(一部加工)

交付金事業

A) 行政関連サービス群

(データ連携基盤、コミュニケーションポータル、オープンデータ基盤、セキュアDB)

- A-1) データ連携基盤、コミュニケーションポータル（茅野市どっとネット）、
オープンデータ基盤（茅野市オープンデータカタログサイト）※3/6公開予定
A-2) セキュアDB ※構築済

B) 要支援者見守りサービス群（保健・医療・福祉分野）

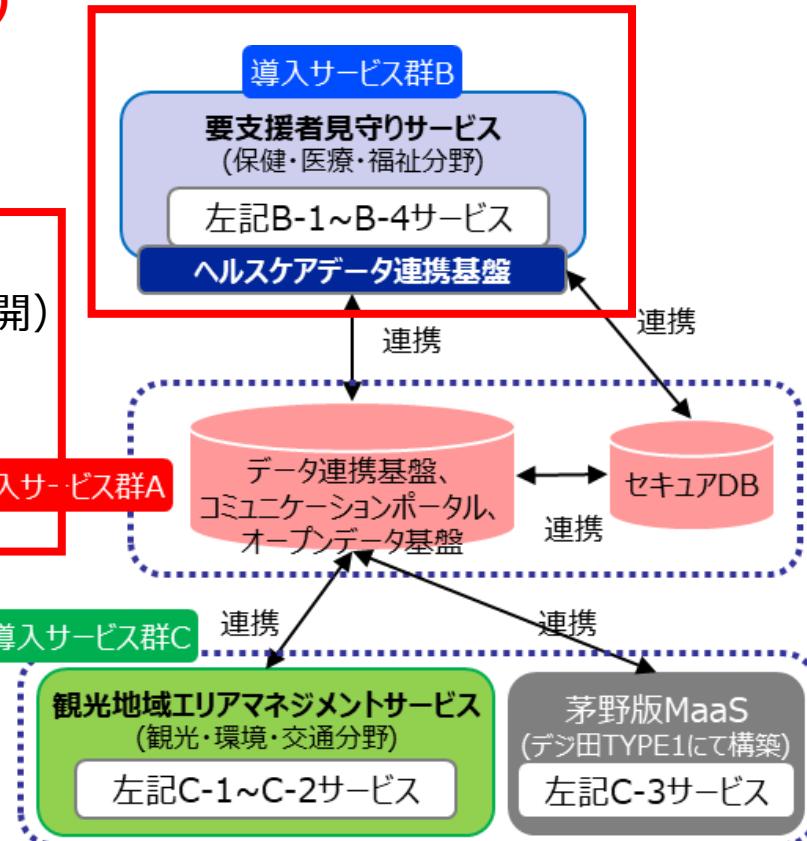
- B-1) PHR閲覧アプリ(ちのカル+ヘルスケアデータ連携基盤)※3/20利用開始（限定公開）
B-2) 家族・医療従事者向け見守りアプリ(やすらぎの丘スマート居室化)※構築済み
B-3) 在宅ケアにおけるセキュアな多職種コミュニケーション端末・アプリ(Mell+)
※システム構築済み。運用は4月以降を予定
B-4) AIケアマネジメント支援アプリ※3/末導入予定

C) 観光地域（DMO）エリアマネジメントサービス群

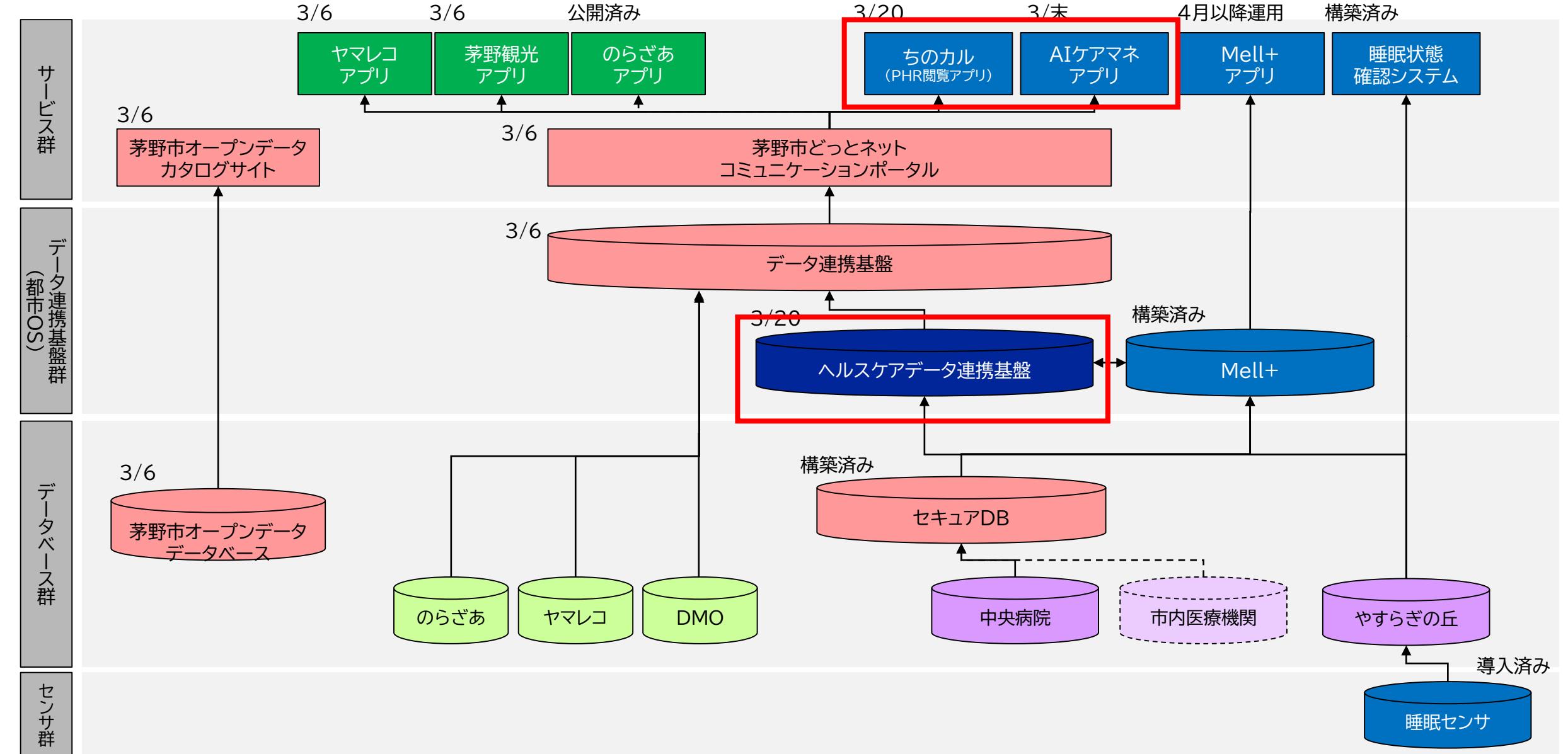
（観光・環境・交通分野）

- C-1) 自然保全×登山客見守りアプリ(ヤマレコ)※3/6公開予定
C-2) 茅野観光アプリ※3/6公開に向け作業中
C-3) 茅野版MaaS（のらざあ）※データ連携基盤との接続については調整中

イメージ図



デジタル田園都市国家構想推進交付金事業 システム全体像



デジ田で目指した方向性、
目的

2022年デジ田時点での
整理、構築システム

2025年時点での
現状と展望

今後の方針(案)

ヘルスケア情報
(医療、介護、検診など)
の統合的データベース

自分のヘルスケアデータ
を確認できる環境を整備
することで、健康行動を
促進

AIがケアプラン等を提案
し、対物から対人業務へ
の移行を推進

医療、介護の多職種が
患者情報を共有し、
コミュニケーションが
取れるプラットフォーム

ヘルスケアデータ
基盤(HCDP)
SOMPOケア

ちのカル
(PHRアプリ)
SOMPOケア

AIケアマネ
SOMPOケア

Mell+
(八ヶ岳ケアネット)
ワизマン

①国によるPMHの構築推進
②マイナポータルの機能充実
③信州メディカルネットの
再構築検討
など状況の変化により
⇒国と地方の役割分担の
明確化が必要と判断
⇒市は健康づくり分野に特化

※PMH(Public Medical Hub):
自治体、医療機関、薬局などで、医療費
助成、予防接種、母子保健、介護保険など
公的制度の情報を安全に共有するため
の情報連携基盤

※信州メディカルネット:信大病院を中
心に、NPO法人信州メディカルネット
協議会が運営する、長野県内の医療機
関相互で患者の診療情報を共有する
地域医療連携システム

AI技術の進展

加入事業者数増加
ユースケースが不足

PMH、マイナポータルの活用

信州メディカルネットの再構築

HCDP、PHRアプリの
グレードアップ

- 目的の再明確化に伴い、他社と協働
してアプリをバージョンアップ
⇒利用拡大
- 健康行動の目標と成果の見える化
- 健康づくりポイント事業のデジタル化
⇒モチベーションアップ
- AIで健康リスクを推定し、ハイリスク
アプローチやEBPMを促進

Mell+

ワизマン

- 定期的な事業者ミーティングで利用
を加速